

## 第 1 2 回 資源循環型施設建設候補地選定委員会 会議録

日時：平成 1 8 年 6 月 2 8 日（水）  
午前 9 時 3 0 分～ 1 1 時 2 0 分  
場所：清浄園 2 階 会議室

### 1 開 会

### 2 委員長あいさつ

### 3 報告事項

第 1 1 回委員会の会議録について

### 4 議題

- ( 1 ) 候補地評価表の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・( 資料 1 )
- ( 2 ) 候補地評価点数について・・・・・・・・・・・・・・・・・・( 資料 2 )
- ( 3 ) 候補地の絞込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・( 資料 3 )
- ( 4 ) 追加項目による候補地評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・( 資料 4 )
- ( 5 ) 地域住民の情報収集のあり方について・・・・・・・・・・・・・・・・・・( 資料 5 )

### 5 その他

- ( 1 ) 広域連合のごみ処理の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・( 資料 6 )
- ( 2 ) 次回委員会について( 日程調整 )

### 6 閉 会

出席委員（13人）

栗田たか子	委員
宮原 則子	委員
上沢 忠人	委員
両角 秀	委員
金井 善男	委員
樋口 勲	委員
小山 敏子	委員
木口 憲爾	委員
表 秀孝	委員
藤原 信一	委員
下村 聖	委員
大井 一郎	委員
山本 哲	委員

欠席委員（2人）

若林 政夫	委員
柳澤 旨賢	委員

出席者 事務局（11人）

社団法人 全国都市清掃会議	技術部長	栗原 英隆
上田市役所 廃棄物対策課	課長	田中 行房
東御市役所 市民課	課長	掘口 雅人
上田市役所 丸子地域自治センター		
市民生活課	課長	堀内 親夫
上田市役所 真田地域自治センター		
市民生活課	主査	松木 宏樹
上田市役所 武石地域自治センター		
建設環境課	課長	掛川 兼司
青木村役場 住民福祉課	課長	中澤知賀雄
長和町役場 町民課	課長	丸山 敏和
上田地域広域連合事務局	事務局長	三好 健三
上田地域広域連合事務局	ごみ処理広域化推進室 室長	宮澤 俊文
上田地域広域連合事務局	ごみ処理広域化推進室 主任	塩入 学

出席者 コンサルタント（1人）

国際航業株式会社 公共ビジネス事業本部 環境統括部		
環境施設部	主任技師	井土 將博

開会（ 9 時 3 0 分 ）

1 開会

（事務局）

2 委員長あいさつ

（委員長）

3 報告事項

第 1 1 回会議録の確認について

（委員長）

事前に送付されているが、修正等はよろしいか。

（各委員）

特に変更等の意見なし

4 議題

（ 1 ）候補地評価表の確認

（事務局）

資料 1 （ 1 ）候補地評価表の確認について資料 1 に基づいて説明する。

（委員長）

事務局から前回の委員会で議論した点を踏まえて修正を加えているが、候補地の評価表に関して御意見をいただきたい。御意見はよろしいか。

（各委員）

特に異議なし。

（ 2 ）候補地評価点数について

（事務局）

資料 2 （ 2 ）候補地評価点数について資料 2 - 1、2 - 2 に基づいて説明する。

（ 3 ）候補地の絞込み

（事務局）

資料 3 （ 3 ）候補地の絞込みについて資料 3 に基づいて説明する。

（委員長）

候補地の評価を重み付けしない場合の評価集計表と重み付けする場合の評価集計表及び評価点が高い順番に並べ替えた表についてまず御意見はどうか。

(各委員)

特に異議なし。

(委員長)

資料3の候補地の評価点数一覧の評価の重み付けをしない場合と評価の重み付けをした場合を比較すると順位の中位はかなり変動しているが、上位・下位1/3はほとんど変化がないことが表から判断できると思われる。

建設候補地として15箇所抽出されているが、同じ条件の下に評価している候補地をどのくらい絞込みするのか、御意見をいただきたい。

議論を進めるために提案したいが、重み付けをした順位の下位1/3は候補地から除外したら妥当であると思うがどうか。今後、残りの2/3の候補地については、候補地として明確になってくるので、事務局で候補地周辺の状況などを情報収集してもらって、さらに絞込む判断材料としたい。

(委員)

委員長が言われたように重み付けをして並び替えた表の下位1/3は除外することについては妥当であると思う。

(委員長)

まず、重み付けしない場合と重み付けした場合の2通りを事務局に作成してもらったが、重み付けをして並べ替えた表を基準に候補地を絞込みの議論をしたいがよろしいか。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

評価点を見ると9.00点のラインがちょうど下位1/3となるが、まず、7点台以下の候補地として上から順番に12、10、14、9-2の4箇所については、候補地から除外と判断できると思うがよろしいか。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

次に候補地11-2は8.75点であるが、どう判断するか御意見をいただきたい。

(委員)

候補地11-1、11-2についての重み付けした場合の評価の違いは、周辺住宅等の状況の評価により1点の違いがあるが、航空写真をみると良く分かるが、同一の工業団地であるため評価の違いについて議論していただきたいが。

(委員長)

御指摘のとおり候補地 11 - 1、11 - 2については、周辺住宅等の状況の評価のみが違いがあり、また、重み付けされている項目であるので1点の差ある。

評価をA、Bとする基準が周辺住宅から候補地の中心までの距離が500mと設定されている。同一の工業団地ではあるが、候補地としてそれぞれの評価を分離して議論を進めてきた。

候補地として1箇所とする議論もあるかと思うが、とりあえず現時点で候補地 11 - 2については、除外とすることよろしいか。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

残りの10箇所の候補地について今後議論していかなくてはならないが、11 - 1の周辺の情報として住民の皆さんからも寄せられているが、東御市八重原地区では指定天然記念物であるオオルリシジミが生息しているという状況がある。

候補地3については、過去に開発計画に対する協定などが結ばれている地域であるという状況がある。

候補地15 - 1、15 - 2については、活断層として確実ではないが、疑いがあるという状況がある。

その他の候補地についても地域の情報や実情など候補地の絞込みの判断材料として地域の情報を収集する必要がある。今までのように、ある程度絞込まれてくると客観的に評価することが難しいことが予想される。

(4) 追加項目による候補地評価について

(事務局)

資料4 (4) 追加項目による候補地評価について資料4に基づいて説明する。

(委員長)

追加評価項目については、中間報告書にも記載したが、第2次評価として施設建設に係る経済的な評価として深く結びついている。例えば造成が必要な候補地については、造成費を要するが取得金額が安価であり、反対に造成済みの候補地については、取得金額が高価な傾向になるのではないかとと思われる。

追加評価項目については、ランク別に評価する作業を事務局にお願いするが、候補地を評価する上で重要な要素であるけれども、参考として候補地を評価する位置づけになると思われるが、次回委員会で判断していきたい。

建設候補地10箇所が選定されているが、今後の作業を進めていくために、この委員会で議論してきた以外で地域の情報、御提案などがあれば御意見をいただきたい。

(委員)

広域連合議員を代表して新委員となったが、具体的に場所、地形、周辺環境などについてさらに詳細に調査したいので、候補地を実際見に行きたいがどうか。

(委員長)

以前に建設可能区域を評価する段階で現地調査を実施したが、今後の候補地の絞込みをする場合でも参考になるので、委員の御提案についてはどうか。

(各委員)

異議なし。

(委員)

委員会が再開する前に広域連合議会議員選出の委員さんに現地を見ておいていただきたいと事務局に意見としてお願いしておいたが、今回は候補地として絞りこみをした10箇所の現地調査ということで非常に意義があると思う。

ここまで議論を進めてくると、後戻りは許されないので委員会の共通認識をしっかりと踏まえて今後の議論に活かしていただきたい。

(事務局)

次回委員会の日程調整についてはその他のところでお願いを申し上げますが、現地調査の日程についてはバスの手配等もありますので、出来るだけ早い時期の7月中でお願いできればと思います。この場で御協議いただければと思いますが、よろしく願いいたします。

(委員長)

現地調査の日程、次回委員会の日程については、その他のところで議論したい。

次回委員会に向けて追加評価項目等についてはいかがか。

(各委員)

特になし。

(委員長)

では、次回委員会までに事務局で追加評価項目について作業を進めていただきたい。

( 5 ) 地域住民の情報収集のあり方について

( 委員長 )

この委員会は事業アセスの委員会ではなく、前段階の作業として進めている。候補地を選定している段階として地域住民の方の御意見を十分に情報収集する必要がある。具体的に候補地が絞り込まれてきているので、地域住民の方の御意見、地域特有の情報を収集し、この委員会の計画段階における候補地選定に地域住民の方にも参加していただく必要がある。地域住民の方の御意見、特有の情報が候補地選定に結びついていくと思われる。

( 事務局 )

資料 5 ( 5 ) 地域住民の情報収集のあり方について資料 5 に基づいて説明する。

( 委員長 )

事務局から情報収集の進め方等を説明していただいたが、このことについて御意見はどうか。

( 委員 )

委員会の情報公開も非常に大事なことだが、御意見よりも具体的な質問が多く出されるのではないか。各候補地周辺の住民の方からは、是非誘致したいという御意見はまずないと思われる。

まず反対する理由として施設は安全であるかどうかという不安がありますので、安全であるということを具体的に示し、少しずつ施設に対する理解を深めていただきたい。

( 事務局 )

今までの選定経過も含めて施設の安全性について地域住民の方へ御理解をいただけるような説明をしていきたいと考えております。

( 委員長 )

一番重要である施設の安全性に関しては、施設の技術レベルの安全性だけでなく、例えば住民も参加した形で施設の運営を行っていく。その方法や要望など安全性について附帯意見としてとりまとめ提言書をまとめる必要がある。

( 委員 )

前回の委員会で現有施設である上田・丸子・東部クリーンセンターの周辺住民の健康被害はどうかということ进行调查してもらいたいという御意見があったと思うが、今後の地域住民への説明のためにも事務局で準備するべきだと思う。

(委員)

地域住民の方へ出向いて情報収集となると第一に健康被害はどうか、環境に対する負荷について多くの御意見をいただけるのではないかとと思われる。出来るだけ施設を建設するにあたってどういう施設を造るかというのも大きな問題であり、もしも施設に何かあった場合についてはどうするかきちんと事務局としては対処していただきたい。

(事務局)

施設の安全性に関しては、今までの全国で建設されている施設がありますので、高度の技術レベルで安全性を確保できると考えております。もしも施設に何かあった場合について全国の事例を調査していきたいと考えております。

健康被害に関しては、全国的に施設周辺住民に健康被害が多い傾向であるという事例などはありません。健康被害が起こるのではないかとという不安はあると思いますので、全国の最新の施設についての状況なども調査していきたいと思っております。

(委員長)

施設の安全性については、施設提供者であるプラントメーカーからの情報だけではなく、上田地域広域連合が計画している全国の類似の施設がどういう状況なのかを含めて情報収集して住民の方たちに情報提供していただきたい。

(委員)

候補地周辺住民の方からの情報収集となるとマイナス思考の御意見が多い傾向であると思うが、前向きな御意見も上手に引き出すように事務局をお願いしたい。

(事務局)

施設建設に対しては厳しい御意見が多数いただける傾向であるとは思いますが、地域還元施設などの御意見などの前向きな御意見もいただけるようにしていきたいと思っております。

(委員)

現段階では説明会ではなく、情報収集であるということではあるが、今までの委員会で検討されてきた経過を十分に説明していただきたい。候補地とされている地域のみが関心が高く、候補地でない地域では関心がないということに不安を感じる。ごみ減量の必要性や減量に対する地域の取り組みなども説明していただきたい。

(委員長)

広域全体へ情報発信し、地域住民での取り組みとしてごみ問題の勉強会の開催等が恒常的になるようでない地域で取り組むことはできない。今後広域連合としてゼロエミッション宣言をするまたはそこへ向けてのシステム作りが必要である。

## 5 その他

### (1) 広域連合のごみ処理の概要

(事務局)

資料6 5 その他 広域連合のごみ処理の概要について資料6に基づいて説明する。

(委員長)

施設建設するうえで年間の可燃ごみ量の設定はどのくらいか。

(事務局)

平成17年度の上田地域広域連合全体の可燃ごみ処理量は47,048tであります。7,000t程度減らして40,000t程度を目標としたいと思います。地域住民の皆様の御理解と御協力により可燃ごみ処理量も減少傾向でありますので、この傾向を続けますと目標達成も可能であると思います。

(委員長)

住民の皆さんへの情報として年間の可燃ごみ量を設定して、どのくらいの施設を考えている。また、減量目標値はどのくらいで、あと何%を何年間で達成しなければならないなどの具体的な情報によって御家庭での減量化が可能なのかどうか問題である。

具体的な情報があれば地域の減量に対する取り組みも進むのではないかと思う。

(委員)

ごみ減量への取り組みについては、ある程度評価できるが、可燃ごみ・不燃ごみの有料化の早期導入であったこと、環境都市としての大きな目標に向けて住民の方にもっとごみ減量への取り組みをもっとPRして良いのではないか。

(委員長)

行政の政策というのは、行政自身が自己評価して、そして自己評価そのものがどのような評価であったかを住民側からもう一度評価をして議論することが大事であり、次の政策を作り上げるステップになると思う。

リデュースについては、エコデザインによる問題であり、こちらは受ける側なので出てしまうごみを出さないようにすることは不可能のことである。使う側からもしくは行政から企業に対してもっと意見を出しても良いのではないかと思う。

四国の小さな自治体のように社会に対して意見を出して頑張っているの、上田地域広域連合や構成市町村も参考にさせていただきたい。

(委員)

さらなる家庭のごみの減量化として雑紙の完全分別化や生ごみの堆肥化により目標の数値は達成できるのではないかと思う。ごみ減量化については、エコハウスにお見えになった方は可燃ごみ袋で出している方が多く、そういう方にはダンボールで堆肥化できる“ぱっくん”の普及に努めています。400円/袋の“ぱっくん”を上田市としても6月1日から200円の補助があるので、200円で購入できるようになった。

ごみ減量化への取り組みとしてエコハウスのようなリサイクル活動拠点施設があって良かったと思う。

(委員長)

ごみの減量化についての理解が進まない施設建設に結びつかないところもあるので、必要に応じてこれからもごみ減量化の取り組みを住民へ情報発信していただきたい。

今回については、広域連合の取り組みとして情報であったが、構成市町村の具体的なごみ減量化の取り組みについて情報をお願いしたい。

(2) 次回委員会について(日程調整)

(委員長)

現地調査の日程についての御意見はどうか。

15日の土曜日か16日の日曜日はいかがか。

全員の出席ではないが新委員の御都合を優先したいと思うので、15日の土曜日か16日の日曜日に現地調査を行いたいと思うがどうか。

(各委員)

異議なし。

(事務局)

バスの手配等もありますので、15日の土曜日か16日の日曜日のどちらかで委員の皆様は日程についてなるべく早く御連絡をしたいと思います。

(事務局)

次々回について日程調整表をお配りさせていただきましたが、全員の委員の皆様の御出席を原則として夜間の時間帯や土日の開催についても検討したいと思いますので、出席をFAXにて御回答いただき日程を再度調整していただきたいと思います。よろしく申し上げます。

(委員長)

今後の議論については、かなり重要な段階になってきているので、御都合をつけて出席をお願いしたい。

(事務局)

先ほどの資料4の追加評価項目については、配点表に基づいて重み付けをしない評価表と点数表を次回委員会までに作成したいと考えておりますがよろしいでしょうか。

(委員長)

事務局の説明のとおりに進めてもよろしいか。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

他に御意見はどうか。

本日はこれで終了としたい。

6 閉会

(事務局)

閉会(11時20分)